



デジタルミュージックマシン設定ソフトウェア

(デジタルミュージックマシン PA-DA300 設定用)

型名 **PA-ZS300A** 取扱説明書

お買い上げありがとうございます。
この「取扱説明書」は、本製品の操作方法を説明しています。
よくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご注意：

- このソフトウェアを使ってお客様ご自身で任意のメッセージや音声をデジタルミュージックマシン PA-DA300 でご利用いただくことができますが、第三者の著作物等をご利用になる場合には、著作権法等、その他法規にもとづいて、お客様の責任で権利者の許諾を得ていただく必要があります。

もくじ

はじめに

もくじ	2
こんなことができます	3
ソフトウェア使用許諾契約書	4

準備

動作環境	5
システム接続	5
アプリケーションソフトのインストール	6
USB ドライバーのインストール	6
PA-ZS300A のインストール	6
プロジェクトを作成する	7
アプリケーションの概要	8

メモ리카ード作成

メモ리카ード作成手順	9
本体の設定	10
❶ システム動作設定	10
❷ 制御出力設定	11
❸ 再生設定	11
❹ 制御入力設定	12
❺ 機能キー設定	13
データ編集	14
CM プレイリストの編集	14
BGM プレイリストの編集	16
データの取り込み / 書き込み	18
CM ファイルの加工・編集	20
CM ファイルの登録	22
BGM ファイルの登録	23

その他の設定

オプションの設定	24
----------------	----

外部制御

パソコンによる PA-DA300 本体の制御	26
------------------------------	----

その他

プレイリストプレイヤーについて	29
こんなときは	30

こんなことができます

デジタルミュージックマシン設定ソフトウェア [PA-ZS300A] はデジタルミュージックマシン PA-DA300 (以下 PA-DA300) のシステム設定、CM プレイリスト、BGM プレイリストの編集および CM 音声ファイルの加工・編集を行うための支援アプリケーションです。

PA-DA300 本体に関する設定

PA-DA300 本体の各種設定項目をパソコン画面上から登録することが可能です。

CM プレイリストの編集

CM ファイルからメッセージおよびプレイリストの編集ができ、本体に転送することができます。

BGM プレイリストの編集

BGM ファイルからミュージックおよびプレイリストの編集ができ、本体に転送することができます。

CM ファイルの加工・編集

PA-DA300 本体で録音した JAV 形式の音声ファイル、パソコンで作成した Windows の標準的な音声ファイルである WAV ファイル (以下 WAV ファイル) のサンプリング周波数やゲイン等の加工・編集ができます。

CM ファイルの PA-DA300 本体への登録

WAV 形式の音声ファイルを PA-DA300 本体に CM ファイルとして、登録ができます。
(登録された CM ファイルは WAV 形式に準拠した音声ファイルですが、PA-DA300 および本ソフトに添付の CM プレイリストプレイヤーでのみ再生できるようにプロテクトがかかっています。そのため、登録された CM ファイルはその他の音楽プレイヤーソフトウェアで再生することはできません。)

BGM ファイルの PA-DA300 本体への登録

Windows Media オーディオファイルである WMA ファイル (以下 WMA ファイル) を PA-DA300 本体に BGM ファイルとして、登録ができます。
(登録された BGM ファイルは WMA 形式に準拠した音声ファイルですが、PA-DA300 および本ソフトに添付の BGM プレイリストプレイヤーでのみ再生できるようにプロテクトがかかっています。そのため、登録された BGM ファイルをその他の音楽プレイヤーソフトウェアで再生することはできません。)

パソコンから PA-DA300 本体を制御する


パソコンから PA-DA300 本体の制御とエラーログの確認ができます。

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

ご注意 : 操作上の注意が書かれています。

メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

 : 参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- Microsoft、Windows、および Windows Media は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

ソフトウェア使用許諾契約書

PA-ZS300Aをインストールする前に、必ずお読みください。

株式会社JVCケンウッド・公共産業システム（以下「弊社」といいます）は、お客様に提供されたデジタルミュージックマシン設定ソフトウェア [PA-ZS300A]（以下、「本ソフト」といいます）を使用する権利を下記の条件で許諾します。

著作権

本ソフトに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属し又は第三者から正当なライセンスを得たものであり、本ソフトは、日本およびその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。

権利の許諾

1. お客様は、本契約の条項にしたがって本ソフトを使用する非独占的な権利を本契約に基づき取得します。お客様は、お客様の業務に必要な範囲内において、本製品を設置するお客様の施設（店舗、本・支店や教育施設等）内のパソコンに搭載された HDD その他の記憶装置に本ソフトをインストールし、使用することができます。
2. お客様は、本ソフトをバックアップまたは保存の目的において複製することができます。

制限事項

1. お客様は、いかなる方法によっても、本ソフトの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。ただし、適法と認められる場合はこの限りではありません。
2. お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトを全部または一部であるかを問わず、使用、複製することはできません。
3. お客様には本ソフトを使用許諾する権利はなく、またお客様は本ソフトを第三者に販売、貸与またはリースすることはできません。
4. お客様は、お客様自らだけでなく、お客様の役員・従業員・教員または第三者にも上記 (1) から (3) で禁止されている行為をさせてはなりません。

限定保証

本ソフトは、一切の保証なく、現状で提供されるものであり、弊社はその商品性、特定用途への適合性をはじめ、明示的にも黙示的にも本ソフトに関して一切保証しません。本ソフトに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。

責任の制限

弊社は、本契約その他いかなる場合においても、結果的、付随的あるいは懲罰的損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます）について、一切責任を負いません。お客様は、本ソフトの使用に関連して第三者からお客様になされた請求に関連する損害、損失あるいは責任より弊社を免責し、保証するものとします。

契約事項

- * 本契約は、お客様が本ソフトをお客様のハードウェアに最初にインストールされた日を以て発効し、次によって終了されない限り有効に存続するものとします。
- * お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、弊社は、お客様に対し何らかの通知、催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。その場合、弊社は、お客様の違反によって被った損害をお客様に請求することができます。なお、本契約が終了したときは、お客様は直ちにお客様のハードウェアに保存されている本ソフトを破棄（お客様のパソコンサーバー上のメモリーからの消去を含みます）するものとします。

輸出管理

お客様は、本ソフトあるいはそれに含まれる情報・技術を日本ならびにその他の関係国が出荷等を禁止ないし制限している国に出荷、移転または輸出しないことに同意します。

その他

1. 弊社の正当な代表者が署名した書面による場合を除き、本契約のいかなる修正、変更、追加、削除その他改変も無効とします。
2. 本契約のいずれかの規定が日本国の法律で無効とされた場合も、残りの規定は依然有効とします。
3. 本契約は日本国法を準拠法とします。本契約に関連または起因する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所としてこれを解決するものとします。

動作環境

使用可能なパソコンの仕様

OS : Windows 7 Home Premium
Service Pack 1
Windows 7 Professional Service
Pack 1
Windows 8.1 Update
Windows 8.1 Pro Update
Windows 10 Home
Windows 10 Pro

※ 各 OS は日本語版のみの対応です。
また、32/64 ビットの両方に対応
しています。

CPU、メモリ : 各 OS のシステム要件を満たすこと

ディスプレイ : 1024 × 768 ドット以上

HDD : アプリケーションのインストールに
50 MB 以上の空き容量が必要

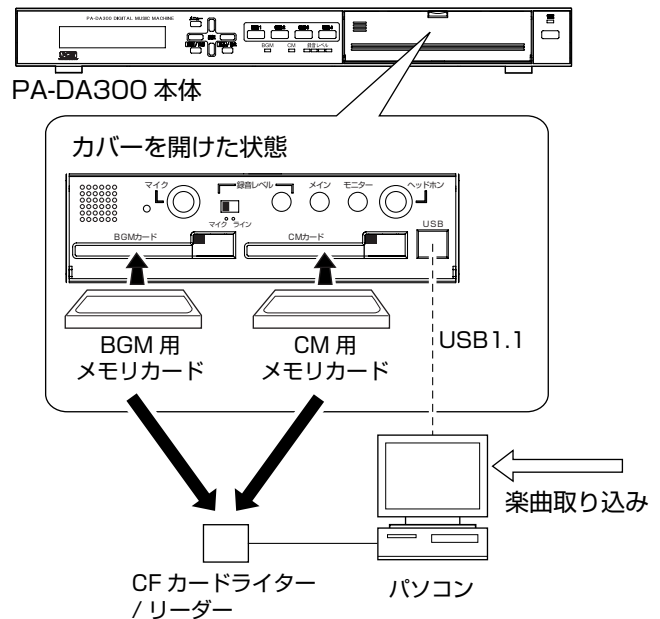
インターフェース : USB 準拠のシリアルインターフェース

メモ:

- コントロールパネルのデスクトップのカスタマイズのディスプレイの設定、または、設定のディスプレイのカスタマイズの設定で、テキストやその他の項目のサイズの拡大率が大きくなっている場合は、設定ソフトウェアの項目が画面に収まらなくなることがあります。その場合は、設定ソフトウェアの項目が画面に収まるように、拡大率を下げてください。
- パソコンの仕様は、アプリケーションを快適にお使いいただくための目安であり、動作の保証をするものではありません。動作環境条件を満たしているパソコンをお使いでも、お客様の使用状況によっては快適にお使いいただけない場合があります。

システム接続

下記のように、PA-DA300 本体とパソコンを接続し、プレイリストの作成などを行います。



メモ:

- CM ファイル、BGM ファイルを登録する場合は、CF カード（デジタルメモリーカード）を CF カードライター / リーダーに接続する必要があります。『CM ファイルの登録』（P.22 ページ）『BGM ファイルの登録』（P.23 ページ）を参照ください。
- PA-DA300 本体で設定したデータをパソコンに取り込んだり、パソコンで設定したデータ（システム設定、プレイリスト設定）を CF カードに書き込む場合は、下記の 2 種類の方法で行うことができます。
 - CF カードを PA-DA300 本体に挿入した状態で、パソコンと PA-DA300 本体を USB で接続する。
 - CF カードを挿入した CF カードライター / リーダーをパソコンに接続し、直接データの取り込み、書き込みを行う。

CF カードについて

- PA-DA300 本体で使用する CF カードは必ず指定品の「デジタルメモリーカード」をお使いください。指定品以外での動作保証はいたしません。
- 指定品：デジタルメモリーカード（サービスパーツ扱い）
品番 T9D-0027-00 (512MB)

アプリケーションソフトのインストール

USB ドライバーのインストール

USB ドライバーのインストール方法は、インストールガイドをご覧ください。

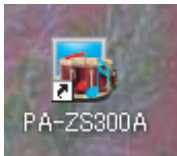
PA-ZS300A のインストール

PA-ZS300A のインストール方法およびアンインストール方法は、インストールガイドをご覧ください。

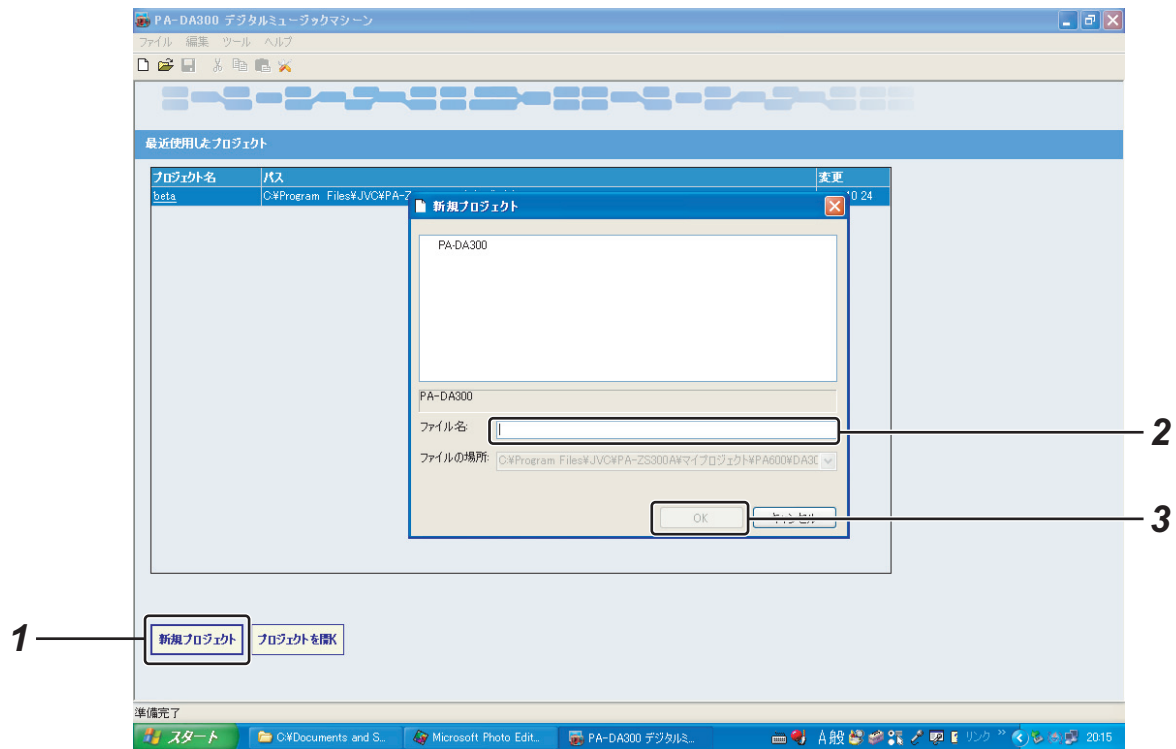
プロジェクトを作成する

下記どちらかの方法で PA-ZS300A を起動し、プロジェクトを作成します。

- デスクトップの PA-ZS300A アイコンをクリックする。



- Windows の [スタート] メニュー → [(すべての) プログラム] → PA-ZS300A をクリックする。



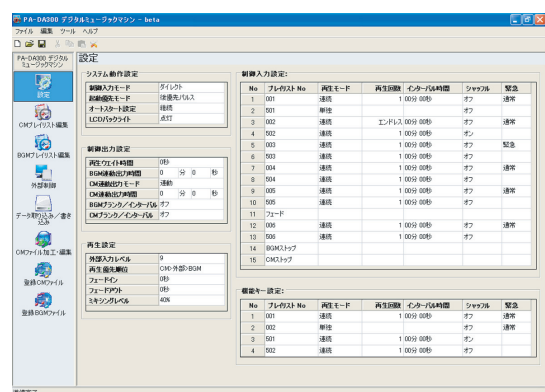
1. [新規プロジェクト] をクリックする

新規プロジェクト画面が表示されます。

2. ファイル名 (プロジェクト) を入力する

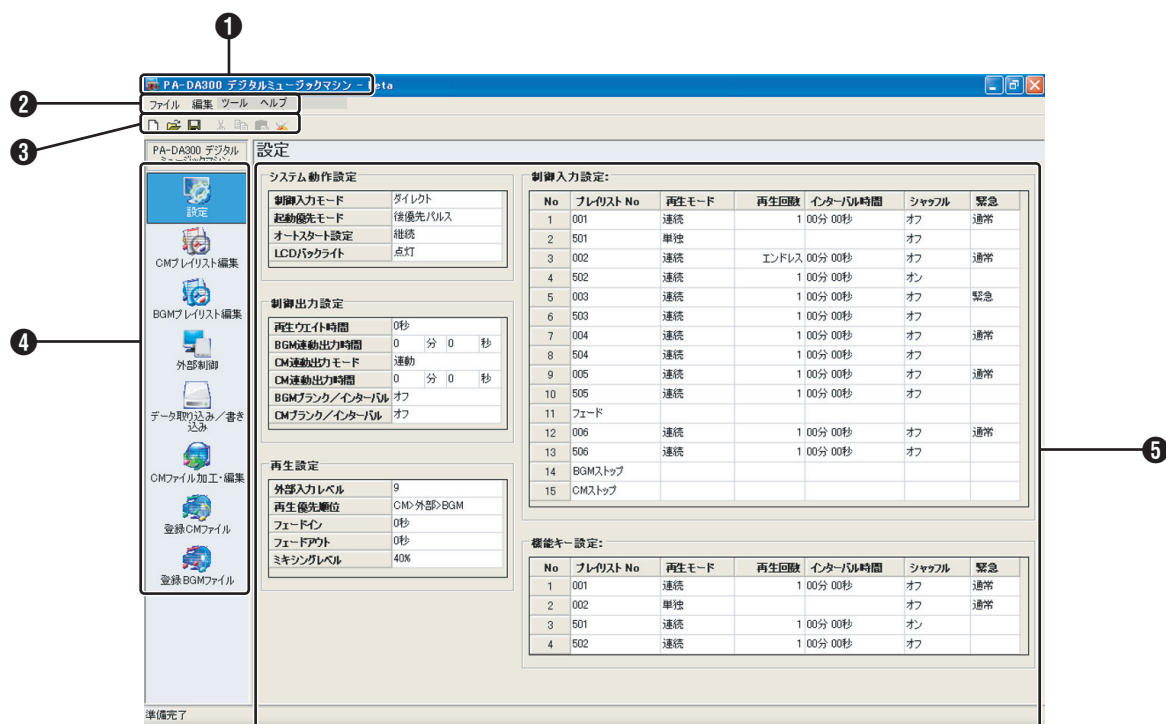
3. [OK] をクリックする

ファイル名 (プロジェクト) が決定され、設定画面が表示されます。



アプリケーションの概要

PA-DA300 本体に関する設定、CM プレイリストの編集、BGM プレイリストの編集、CM ファイルの加工・編集、登録 CM ファイルの編集、登録 BGM ファイルの編集、パソコンによる PA-DA300 本体の制御、データの取り込み／書き込みの 8 種類の操作が可能です。



① タイトルバー

開いているプロジェクト名が表示されます。

② メニューバー

操作に必要なメニューを表示しています。

③ ツールバー

一部の機能をアイコン表示しています。

④ 登録 / 設定ボタン

● 設定

システム動作の設定、制御出力の設定、再生出力の設定など、PA-DA300 本体に関する設定をする場合にクリックします。(P. 10 ページ)

● CM プレイリスト編集

CM ファイルからメッセージ・プレイリストを作成する場合にクリックします。(P. 14 ページ)

● BGM プレイリスト編集

BGM ファイルからミュージック・プレイリストを作成する場合にクリックします。(P. 16 ページ)

● 外部制御

PA-DA300 本体を、パソコンから操作する場合にクリックします。

● データ取り込み／書き込み

PA-DA300 本体または CF カードライター／リーダーを使用して、PA-DA300 本体で設定したデータをパソコンに取り込んだり、パソコンで設定したデータを CF カードに書き込むことができます。(P. 18 ページ)

● CM ファイル加工・編集

パソコンで作成した WAV 形式の音声ファイル、PA-DA300 で録音した JAV 形式の音声ファイルの加工・編集する場合にクリックします。(P. 20 ページ)

● 登録 CM ファイル

PA-DA300 本体に WAV 形式、JAV 形式の音声ファイルを CM ファイルとして登録する場合にクリックします。(P. 22 ページ)

● 登録 BGM ファイル

PA-DA300 本体に WMA 形式、JMA 形式の音声ファイルを BGM ファイルとして登録する場合にクリックします。(P. 23 ページ)

⑤ 登録 / 設定画面表示エリア

選択した ④ 登録 / 設定ボタンの画面が表示されるエリアです。

メモ리카ード作成手順

BGM 用、CM 用それぞれのメモ리카ードを下記の手順で作成します。

BGM 用メモ리카ードには、BGM ファイルだけを書き込みます。

CM 用メモ리카ードには、BGM プレイリスト、CM プレイリスト等の設定データおよび CM ファイルを書き込みます。

BGM 用メモ리카ードの作成手順

Step 1	BGM 用ファイルの作成 WMA 形式のファイルを用意します。 使用できるフォーマットは、『BGM ファイルの登録』(P.23 ページ) を参照してください。
Step 2	BGM ファイルの登録 (P.23 ページ) BGM ファイルの登録と CF カードへの書き込みをします。

CM 用メモ리카ードの作成手順

1. CM ファイルを追加（加工・編集）する

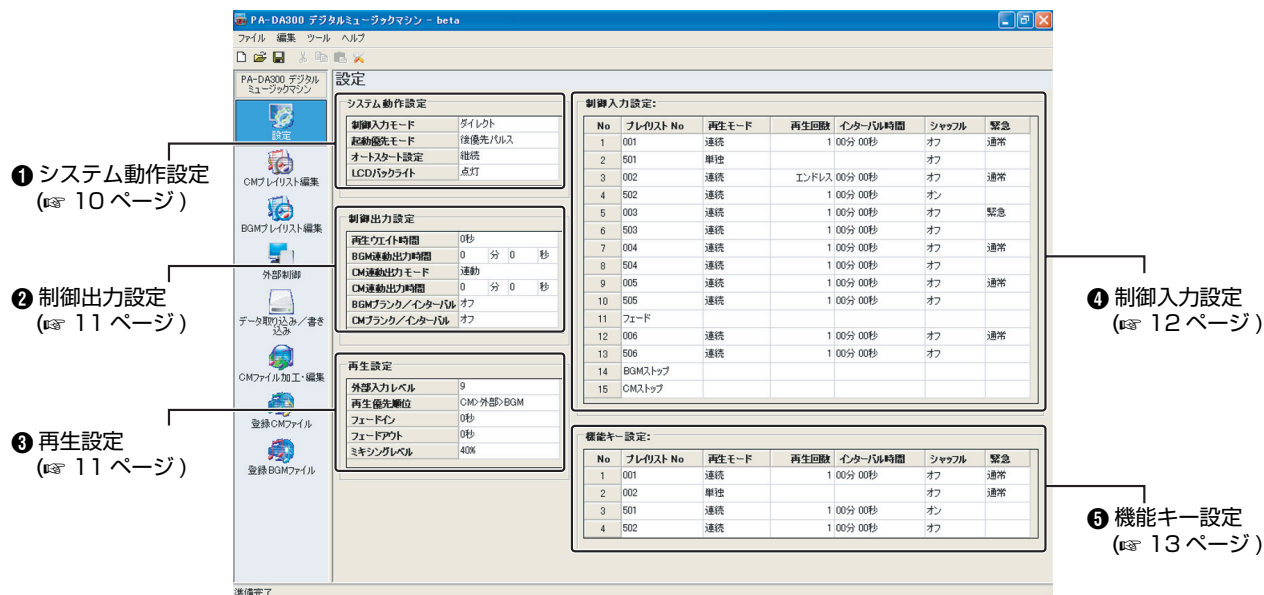
Step 1	CM ファイルの加工・編集 (P.20 ページ) 必要に応じて、PA-DA300 本体で録音した CM ファイルまたは、パソコンで作成した音声ファイルを編集します。
Step 2	CM ファイルの登録 (P.22 ページ) パソコンで作成した CM ファイルの追加や CM ファイルを加工・編集した場合に、CM ファイルの登録と CF カードへの書き込みをします。

2. 各種設定をする

Step 1	データの取り込み (P.18 ページ) CM 用メモ리카ードからプレイリストや設定データを取り込みます。(PA-DA300 本体で CM ファイルの録音や設定をしていない場合は取り込み不要です。)
Step 2	CM プレイリストの編集 (P.14 ページ) PC で作成した CM ファイルを追加した場合や複数のメッセージを組み合わせて登録する場合にプレイリストを作成します。
Step 3	BGM プレイリストの編集 (P.16 ページ) BGM 用のプレイリストを作成します。
Step 4	本体の設定 (P.10 ページ) PA-DA300 本体の各種動作の設定を行います。
Step 5	データの書き込み (P.18 ページ) パソコンで設定した内容を CM 用メモ리카ードへの書き込みをします。

本体の設定

本体のハードウェアに関する設定をパソコンで行うことができます。
設定アイコンをクリックし、必要に応じて下記設定を行なってください。
各設定項目の機能および仕様詳細については、PA-DA300 本体に添付の取扱説明書を参照してください。



① システム動作設定

● 制御入力モード

PA-DA300 本体の制御入力端子のモード設定を行います。項目をクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。

〔設定値：ダイレクト (制御入力端子 1 つに対して 1 つの動作を割り付けます。)

バイナリ (制御入力端子 1 ～ 10 にバイナリ (2 進数) 信号を入力することにより最大 998 個の動作を割り付けます。)]

メモ: _____

- 制御入力モードの変更は、④ 制御入力設定に影響しますので変更後には設定を確認ください。

● 起動優先モード

PA-DA300 本体背面の制御入力端子の優先モードを設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

〔設定値：後優先パルス (後から入力された制御信号を優先します。1 回のパルスで 1 回再生します。)

先優先パルス (先に入力された制御信号を優先します。1 回のパルスで 1 回再生します。)

後優先レベル (後から入力された制御信号を優先します。信号が入力されている間は繰り返し再生します。)

先優先レベル (先に入力された制御信号を優先します。信号が入力されている間は繰り返し再生します。)

順次記憶

(再生中に制御信号が入力されると、入力された順番を記憶し、順次再生します。)]

メモ: _____

- 順次記憶では再生終了前に繰り返し同じ制御信号が入力されても、再生は 1 回のみです。

● オートスタート設定

電源を入れ直した場合の実行状態を設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

〔設定値：継続 (電源を入れると、自動的に電源を切る前の状態に戻ります。)

実行 (電源を入れると、自動的に実行状態になります。)

待機 (電源を入れると、自動的に待機状態になります。)]

● LCD バックライト

PA-DA300 本体の LCD 画面のバックライトの設定を行います。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

〔設定値：点灯 (常にバックライトを点灯します)

消灯 (常にバックライトを消灯します)

キー連動 (キーを押すと 30 秒間点灯し、その後消灯します)]

メモ: _____

- 「消灯」に設定した場合でも、下記の状態になるとバックライトが点灯します。
 - ・ メインメニュー画面に入ったとき
 - ・ パソコンとの通信を開始したとき

② 制御出力設定

● 再生ウェイト時間

制御信号が入力されてからプレイリスト再生までのウェイト（遅延）時間を1秒ステップで設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

[設定値：0秒～99秒]

● BGM 連動出力時間

PA-DA300 本体背面の BGM 連動出力端子の連動時間を1秒ステップで設定します。[設定値：0分0秒～60分0秒]

メモ:

● BGM 連動出力端子の動作に関しては、PA-DA300 取扱説明書 106 ページをご覧ください。

● CM 連動出力モード

PA-DA300 本体背面の CM 連動出力端子の出力モードを設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

[設定値：連動（再生終了後に外部機器を制御します）

緊急（緊急指定したプレイリスト再生時に外部機器を制御します）

ビジー（録音／消去の状態を表示します）]

メモ:

● CM 連動出力端子の動作に関しては、PA-DA300 取扱説明書 106 ページをご覧ください。

● CM 連動出力時間

PA-DA300 本体背面の CM 連動出力端子の連動時間を1秒ステップで設定します。

[設定値：0分0秒～60分0秒]

● BGM ブランク／インターバル

ファイルを再生していない時間について、PA-DA300 本体背面 BGM 電源端子出力のオン／オフを設定します。[設定値：オフ／オン]

メモ:

● BGM 電源出力端子の動作に関しては、PA-DA300 取扱説明書 108 ページをご覧ください。

● 「インターバル時間」(④ 制御入力設定、⑤ 機能キー設定) および「ブランク時間」(BGM プレイリスト編集) が 100 秒以上に設定されているときに有効になります。100 秒未満のときは BGM ファイルを再生していない間も BGM 電源は出力されます。

● CM ブランク／インターバル

ファイルを再生していない時間について、PA-DA300 本体背面 CM 電源端子出力のオン／オフを設定します。

[設定値：オフ／オン]

メモ:

● CM 電源出力端子の動作に関しては、PA-DA300 取扱説明書 109 ページをご覧ください。

● 「インターバル時間」(④ 制御入力設定、⑤ 機能キー設定) および「ブランク時間」(CM プレイリスト編集) が 100 秒以上に設定されているときに有効になります。100 秒未満のときは CM ファイルを再生していない間も CM 電源は出力されます。

③ 再生設定

● 外部入力レベル

PA-DA300 本体背面の外部入力端子に接続された音源の出力レベル（音量）を設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

[設定値：0（音量小）～9（音量大）]

● 再生優先順位

音源の優先レベルを設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。なお、外部とは本体背面の外部入力端子に接続された音源です。

[設定値：CM > 外部 > BGM（CM プレイリストを最も優先して再生し、次に外部音源で、BGM プレイリストが最も優先順位が低くなります）

CM > BGM > 外部（CM プレイリストを最も優先して再生し、次に BGM プレイリストで、外部音源が最も優先順位が低くなります）

外部 > BGM > CM（外部音源を最も優先して再生し、次に BGM プレイリストで、CM プレイリストが最も優先順位が低くなります）

外部 > CM > BGM（外部音源を最も優先して再生し、次に CM プレイリストで、BGM プレイリストが最も優先順位が低くなります）

BGM > 外部 > CM（BGM プレイリストを最も優先して再生し、次に外部音源で、CM プレイリストが最も優先順位が低くなります）

BGM > CM > 外部（BGM プレイリストを最も優先して再生し、次に CM プレイリストで、外部音源が最も優先順位が低くなります）]

● フェードイン

フェードインの時間を1秒ステップで設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが設定されます。

[設定値：0秒～10秒]

● フェードアウト

フェードアウトの時間を1秒ステップで設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが設定されます。

[設定値：0秒～10秒]

● ミキシングレベル

音源の再生が重なったとき、優先されていない音源のミキシングのレベルを10%ステップで設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

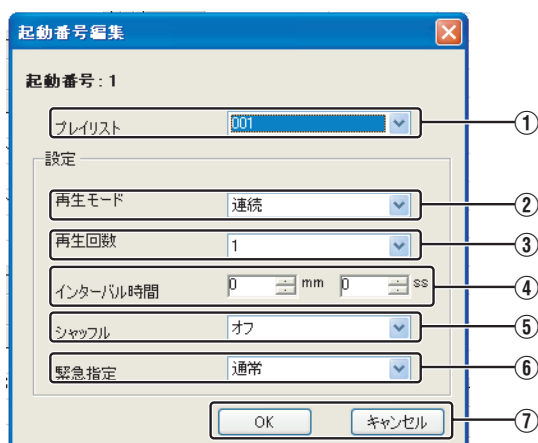
[設定値：0%（無音）～100%（そのままのレベル）]

④ 制御入力設定

設定したい欄をダブルクリックをすると、起動番号編集画面が表示されます。

メモ:

- ダブルクリック以外でも以下の方法で表示できます。
 - ・ 右クリックでメニューを表示し「編集 ...」を選択してクリックする。
 - ・ キーボードから Ctrl + M を入力する。



- ① プルダウンメニューからプレイリストNo.を設定します。

[設定値: 001 ~ 499 (CM プレイリスト)
501 ~ 999 (BGM プレイリスト)]

メモ:

- ① システム動作設定、起動入力モードの設定により起動番号の設定数が変わります。
 - ダイレクトモード: No.1 ~ No.15
 - バイナリモード: No.1 ~ No.999
- ① システム動作設定、起動入力モードを「ダイレクトモード」に設定している場合、以下の起動番号はプレイリストNo.の他に下記の選択肢があります。
 - 起動番号 11: フェード
 - 起動番号 12: CM 録音
 - 起動番号 13: CM 消去
 - 起動番号 14: BGM ストップ
 - 起動番号 15: CM ストップ

- ② プルダウンメニューから再生モードを設定します。
[設定値: 連続 / 単独]

メモ:

「再生モード」設定の動作に関しては PA-DA300 取扱説明書 53 ページをご覧ください。

- ③ プルダウンメニューから再生回数を設定します。(②で単独を選択した場合は設定できません)
[設定値: エンドレス / 1 ~ 99]

- ④ インターバル時間を 10 秒ステップで設定します。(②で単独を選択した場合は設定できません)
[設定値: 0 分 0 秒 ~ 99 分 0 秒]

メモ:

「再生回数」「インターバル時間」設定の動作に関しては PA-DA300 取扱説明書 55 ページをご覧ください。

- ⑤ プルダウンメニューからシャッフルのオン / オフを設定します。
[設定値: オン / オフ]

- ⑥ プルダウンメニューから緊急指定を設定します。
[設定値: 緊急 / 通常]

メモ:

- CM プレイリスト (プレイリスト No.001 ~ 499) を割付けたときのみ設定を行います。

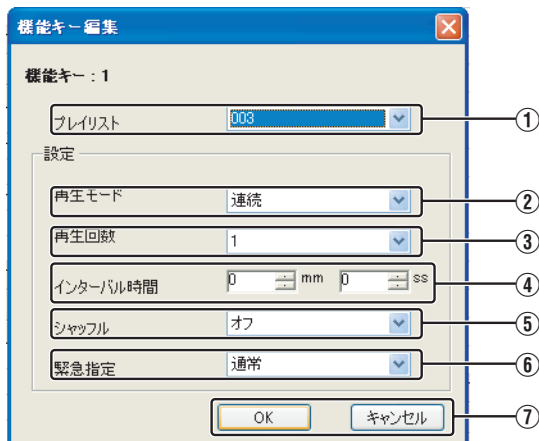
- ⑦ 設定が終了したら、[OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、起動番号編集画面が閉じます。

⑤ 機能キー設定

設定したい欄をダブルクリックをすると、機能キー編集画面が表示されます。

メモ:

- ダブルクリック以外でも以下の方法で表示できます。
 - ・ 右クリックでメニューを表示し「編集 ...」を選択してクリックする。
 - ・ キーボードから Ctrl + M を入力する。



- ① プルダウンメニューからプレイリストNo.を設定します。

[設定値: 001 ~ 499 (CM プレイリスト)
501 ~ 999 (BGM プレイリスト)]

- ② プルダウンメニューから再生モードを設定します。

[設定値: 連続 / 単独]

メモ:

「再生モード」設定の動作に関しては PA-DA300 取扱説明書 99 ページ、103 ページをご覧ください。

- ③ プルダウンメニューから再生回数を設定します。(②で単独を選択した場合は設定できません)

[設定値: エンドレス / 1 ~ 99]

- ④ インターバル時間を 10 秒ステップで設定します。(②で単独を選択した場合は設定できません)

[設定値: 0 分 0 秒 ~ 99 分 0 秒]

メモ:

「再生回数」「インターバル時間」設定に関しては PA-DA300 取扱説明書 101 ページ、105 ページをご覧ください。

- ⑤ プルダウンメニューからシャッフルのオン / オフを設定します。

[設定値: オン / オフ]

- ⑥ プルダウンメニューから緊急指定を設定します。

[設定値: 緊急 / 通常]

メモ:

- CM プレイリスト (プレイリスト No.001 ~ 499) を割付けたときのみ設定を行います。

- ⑦ 設定が終了したら、[OK] をクリックします。

[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、機能キー編集画面が閉じます。

■ 制御入力設定、機能キー設定をコピーする

設定画面で、制御入力設定、機能キー設定をコピーすることができます。同じような動作を設定する場合に便利です

1. コピーする欄を選択し、右クリックする
選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。
2. [コピー] をクリックする

制御入力設定:

No	プレイリスト No	再生モード	再生回数	インターバル時間	シャッフル	緊急
1	001	連続	1	00分 00秒	オフ	通常
2		切り取り コピー				
3	002	貼り付け 削除	エンドレス	00分 00秒	オフ	通常
4	502	編集 編集	1	00分 00秒	オン	緊急
5	003		1	00分 00秒	オフ	通常

3. 貼り付ける欄を選択し、右クリックする
選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

4. [貼り付け] を選択する
プレイリストがコピーされます。

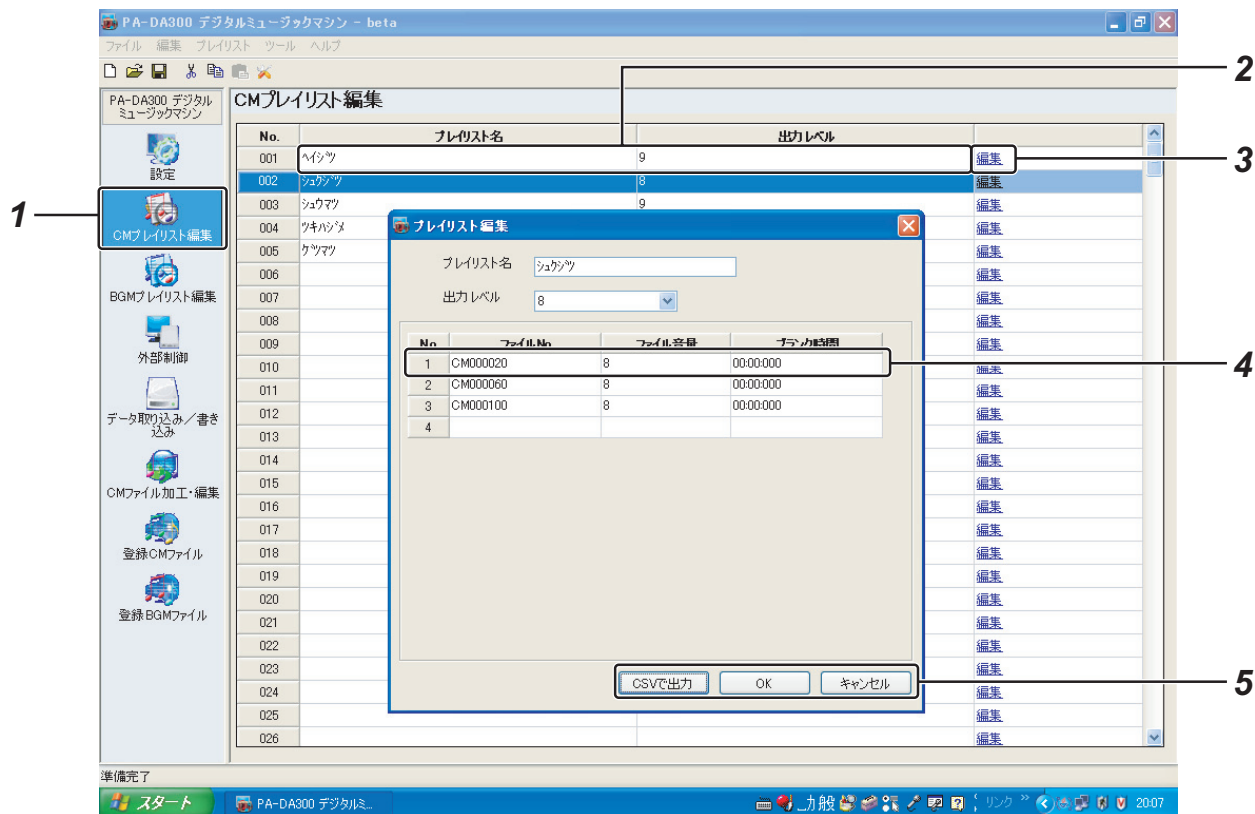
制御入力設定:

No	プレイリスト No	再生モード	再生回数	インターバル時間	シャッフル	緊急
1	001	連続	1	00分 00秒	オフ	通常
2						
3	002	切り取り コピー Ctrl+X	エンドレス	00分 00秒	オフ	通常
4	502	貼り付け Ctrl+V	1	00分 00秒	オン	緊急
5	003	削除 Ctrl+D	1	00分 00秒	オフ	通常
6	503	編集 Ctrl+M	1	00分 00秒	オフ	通常

データ編集

CM プレイリストの編集

CM ファイルを CM プレイリストに登録することにより、複数のメッセージを組み合わせで放送することができます。
(CM プレイリストは最大 499 個作成でき、各プレイリストに登録できるメッセージの数は最大 100 です)



1. CM プレイリスト編集アイコンをクリック

CM プレイリスト編集画面が表示されます。

3. [編集] をクリックする

プレイリスト編集画面が表示されます。

2. [プレイリスト名]／[出力レベル]の欄をダブルクリックし、入力する

プレイリスト名を入力します。

プレイリスト名の例：ラジオ、チャイルド、ホーム

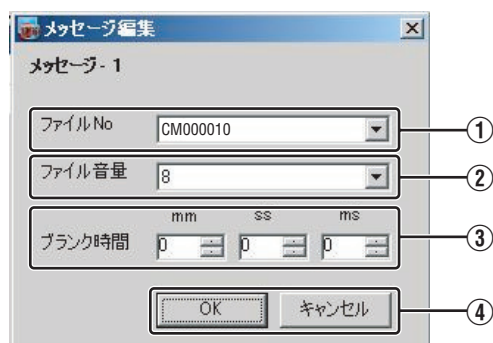
メモ：_____

- プレイリスト名に使用できる文字は半角のみで、カタカナ、アルファベット、数字、スペースおよび下記の記号です。
^ # \$ % & () - _ { } !
- プレイリスト名の長さは 8 文字までです。

出力レベルはプルダウンメニューで選択してください。
[設定値：0 (音量小) ～ 9 (音量大)]

4. メッセージを編集する

メッセージ欄をダブルクリックすると、メッセージ編集画面が表示されます。



① ファイル No. を設定する

再生したいファイル No. をプルダウンメニューで選択してください。

〔設定値：CM000010～CM009990〕

メモ:

- 本アプリケーションと PA-DA300 本体での設定 (PA-DA300 取扱説明書 85 ページ) では、この設定値は以下の関係となっています。

本アプリケーション	PA-DA300 本体
CM 000010	C001
}	}
CM 009990	C999

② ファイル音量を設定する

ファイルの再生音量をプルダウンメニューで選択してください。

〔設定値：0 (音量小) ～ 10 (音量大)〕

③ ブランク時間を設定する

ファイル再生時、次のファイル再生開始までのブランク時間 (間隔) を設定します。0.5 秒ステップで設定できます。

〔設定値：0 分 0 秒 0 ～ 99 分 0 秒 0〕

④ 設定が終了したら [OK] をクリックします。

〔キャンセル〕 をクリックすると、編集が中断され、メッセージ編集画面が閉じます。

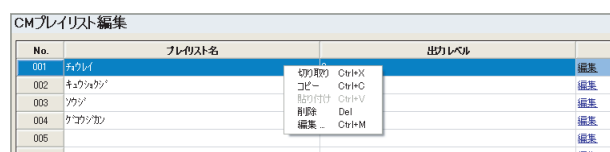
5. すべての設定が完了したら [OK] をクリックする

■ CM プレイリストをコピーする

CM プレイリスト編集画面で、CM プレイリストをコピーすることができます。同じような動作を設定する場合に便利です。

1. コピーする欄を選択し、右クリックする
選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

2. [コピー] をクリックする



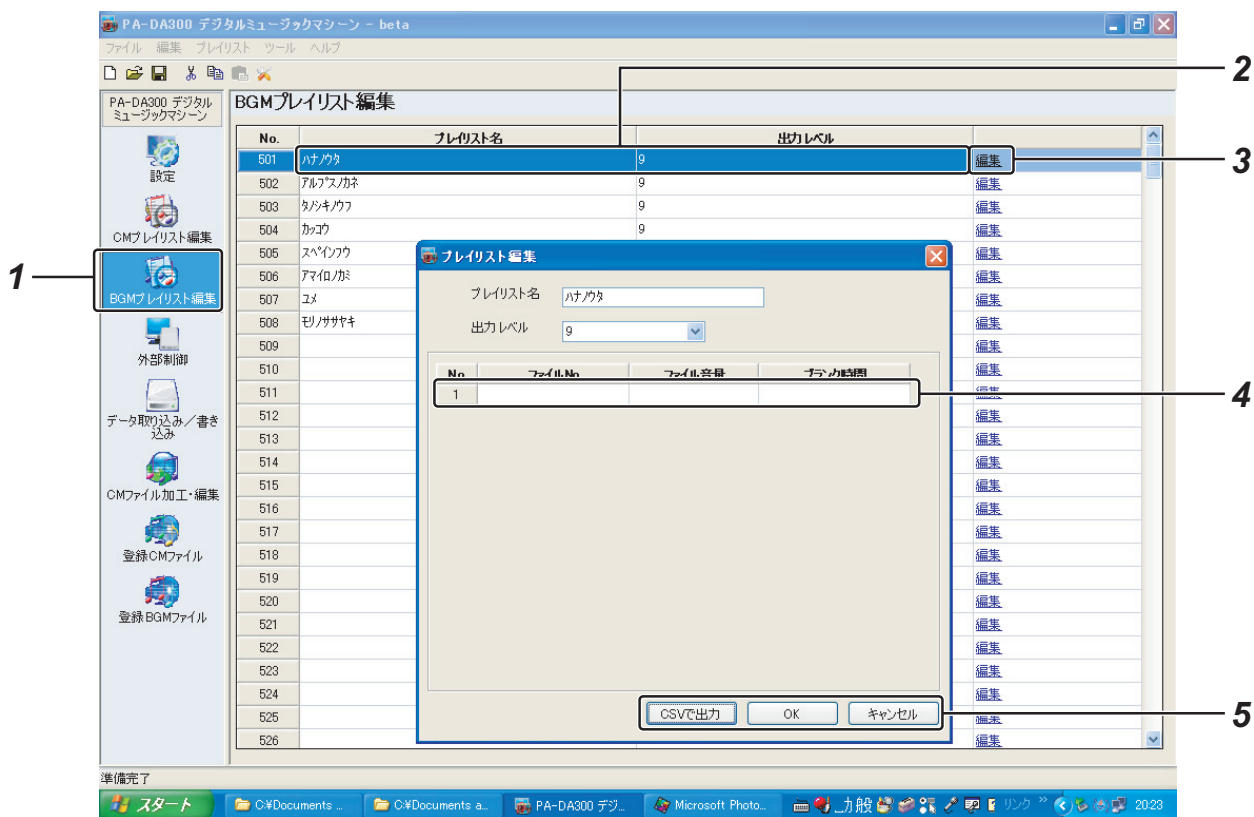
3. 貼り付ける欄を選択し、右クリックする
選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

4. [貼り付け] を選択する
CM プレイリストがコピーされます。



BGM プレイリストの編集

BGM ファイルを BGM プレイリストに登録することにより、複数のミュージックを組み合わせて放送することができます。
(BGM プレイリストは最大 499 個作成でき、各プレイリストに登録できるミュージックの数は最大 100 です)



1. BGM プレイリスト編集アイコンをクリック

BGM プレイリスト編集画面が表示されます。

2. [プレイリスト名]／[出力レベル]の欄をダブルクリックし、入力する

プレイリスト名を入力します。

プレイリスト名の例：ポップス、ロック、ジャズ、クラシック

メモ：_____

- プレイリスト名に使用できる文字は半角のみで、カタカナ、アルファベット、数字、スペースおよび下記の記号です。
^ # \$ % & () - _ { } !
- プレイリスト名の長さは 8 文字までです。

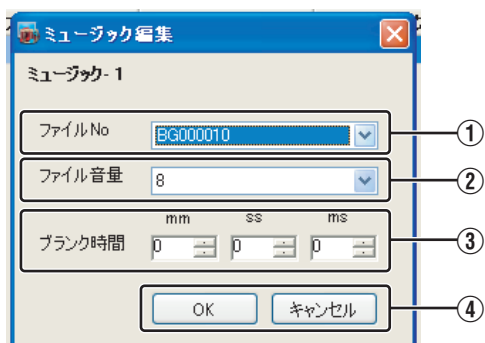
出力レベルはプルダウンメニューで選択してください。
[設定値：0 (音量小) ～ 9 (音量大)]

3. [編集] をクリックする

プレイリスト編集画面が表示されます。

4. ミュージックを編集する

ミュージック欄をダブルクリックすると、ミュージック編集画面が表示されます。



① ファイル No. を設定する

再生したいファイル No. をプルダウンメニューで選択してください。

[設定値：BG000010～BG009990]

メモ:

- 本アプリケーションと PA-DA300 本体での設定 (PA-DA300 取扱説明書 69 ページ) では、この設定値は以下の関係となっています。

本アプリケーション	PA-DA300 本体
BG 000010	B001
}	}
BG 009990	B999

② ファイル音量を設定する

ファイルの再生音量をプルダウンメニューで選択してください。

[設定値：0 (音量小) ～ 10 (音量大)]

③ ブランク時間を設定する

ファイル再生時、次のファイル再生開始までのブランク時間 (間隔) を設定します。0.5 秒ステップで設定できます。

[設定値：0 分 0 秒 0 ～ 99 分 0 秒 0]

④ 設定が終了したら [OK] をクリックします。

[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、ミュージック編集画面が閉じます。

5. すべての設定が完了したら [OK] をクリックする

■ BGM プレイリストをコピーする

BGM プレイリスト編集画面で、BGM プレイリストをコピーすることができます。同じような動作を設定する場合に便利です。

1. コピーする欄を選択し、右クリックする
選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

2. [コピー] をクリックする

No.	プレイリスト名	出力レベル	
501	ハナクサ	9	編集
502	アムアムカキ	9	編集
503	タシキクフ	9	編集
504	カマフ	9	編集
505	スベインク	9	編集
506	アミロ/カミ	9	編集
507	コバ	9	編集

3. 貼り付ける欄を選択し、右クリックする
選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

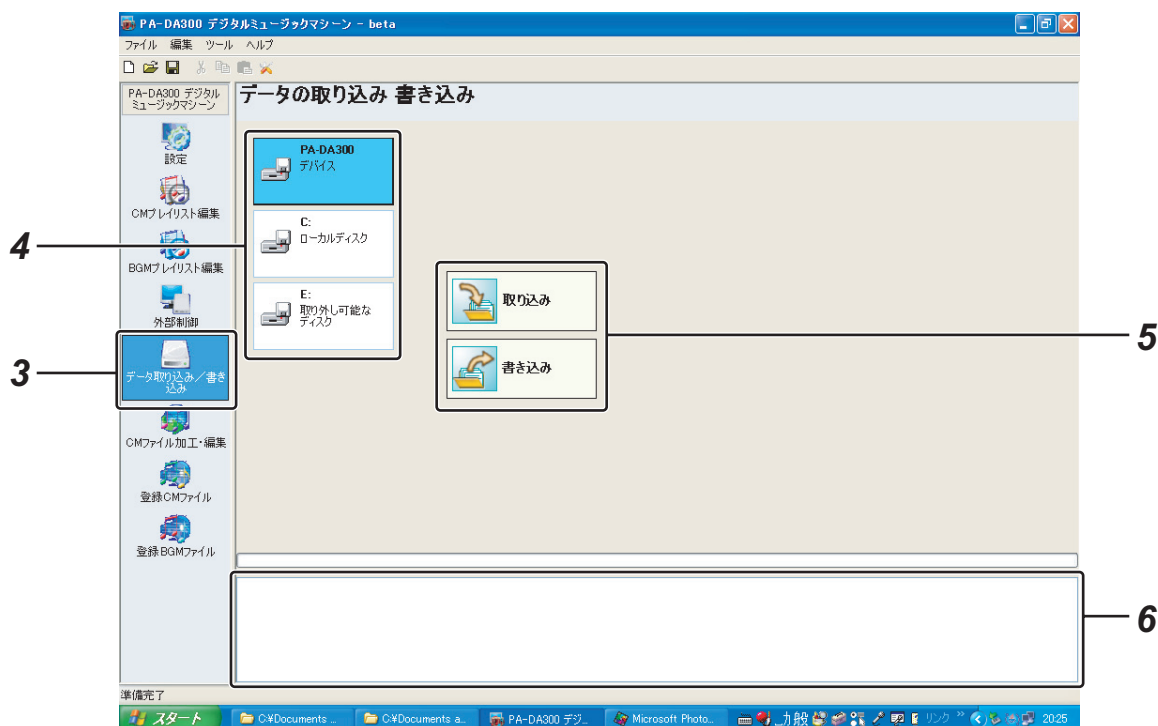
4. [貼り付け] を選択する

BGM プレイリストがコピーされます。

No.	プレイリスト名	出力レベル	
001	チャレイ	9	編集
002	キウツクン	8	編集
003	ソクジ	9	編集
004	クマツカシ	7	編集
005			編集
006			編集
007			編集
008			編集
009			編集
010			編集

データの取り込み / 書き込み

PA-DA300 本体または CF カードライター／リーダーを使用して、PA-DA300 本体で設定したプレイリストなどのデータをパソコンに取り込んで編集したり、本アプリケーションで設定したプレイリストなどのデータを CF カードに書き込むことができます



■ PA-DA300 本体を使用した場合

1. パソコンとPA-DA300本体をUSBケーブルで接続する (5 ページ)

2 PA-DA300 本体の LCD 画面が [タイキチュウ] (待機中) になっていることを確認する

ご注意:

- PA-DA300 本体の LCD 画面が [タイキチュウ] になっていないと、パソコンとの通信はできません。

3. [データ取り込み / 書き込み] アイコンをクリックする

データ取り込み / 書き込み画面が表示されます。

ご注意:

- データの取り込みを行うと、パソコン側で編集中のプレイリストなど、プロジェクトのデータがすべて上書きされます。
- データの書き込みを行うと、PA-DA300 本体の CF カードにあるプレイリストなどのデータがすべて上書きされます。データの書き込みの前に必ず、別のプロジェクトでデータを取り込み、バックアップを行なってください。
- データの取り込み、書き込みでは、音声ファイルの取り込み、書き込みはできません。

4. [PA-DA300 デバイス] をクリックする

5. [取り込み] もしくは [書き込み] をクリックする

PA-DA300 本体の CF カードからプレイリストなどのデータを取り込む場合は [取り込み]、設定したプレイリストなどのデータを本体に書き込む場合は [書き込み] をそれぞれクリックします。

6. [取り込み] もしくは [書き込み] の完了

取り込みが完了するとメッセージウィンドウに「インポートに成功しました。」と表示されます。

書き込みが完了するとメッセージウィンドウに「エクスポートに成功しました。」と表示されます。

メモ:

取り込み、書き込みには約 30 秒から数分かかります。

■ CF カードライター / リーダーを使用した場合

1. 「CM 用メモリカード」を挿入した CF カードライター / リーダーをパソコンに接続する

メモ: _____

- 本体の設定やプレイリストなどのデータは CM 用メモリカードに書き込みます。

2. パソコンの【マイコンピュータ】などで、CF カードが認識されていることを確認する

3. 【データの取り込み / 書き込み】アイコンをクリックする

データ取り込み / 書き込み画面が表示されます。

ご注意: _____

- データの取り込みを行うと、パソコン側で編集中のプレイリストなど、プロジェクトのデータがすべて上書きされます。
- データの書き込みを行うと、CF カードのプレイリストなどのデータがすべて上書きされます。データの書き込みの前に必ず、別のプロジェクトでデータを取り込み、バックアップを行なってください。

4. 【取り外し可能なディスク】(CF カードドライブ) をクリックする

5. 【取り込み】もしくは【書き込み】をクリックする

CF カードからプレイリストなどのデータを取り込む場合は【取り込み】、設定したプレイリストなどのデータを CF カードに書き込む場合は【書き込み】をそれぞれクリックします。

6. 【取り込み】もしくは【書き込み】の完了

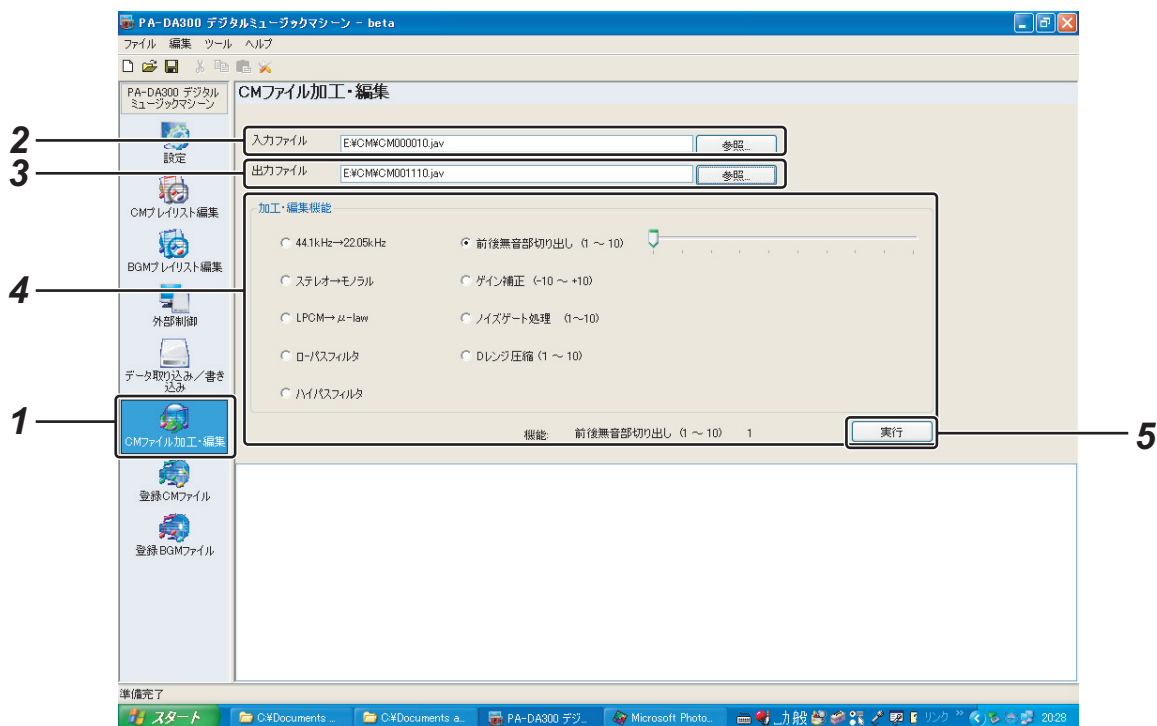
取り込みが完了するとメッセージウインドウに「インポートに成功しました。」と表示されます。

書き込みが完了するとメッセージウインドウに「エクスポートに成功しました。」と表示されます。

7. CF カードを CF カードライター / リーダーからはずし、PA-DA300 本体に挿入する

CM ファイルの加工・編集

PA-DA300 本体で録音した音声ファイルまたは PC で録音した WAV 形式の音声ファイルを加工・編集することができます。



- 前後無音部切り出し、ゲイン補正、ノイズゲート処理、Dレンジ圧縮選択時はスライダーが表示されます



- ローパスフィルタ、ハイパスフィルタ選択時はプルダウンメニューが表示されます



1. [CM ファイル加工・編集] アイコンをクリックする
CM ファイル加工・編集画面が表示されます。

2. 「入力ファイル」に加工・編集するファイル名を指定します。(wav または .jav 形式のファイル)

メモ: _____

加工・編集できるのは下記形式のファイルです。

- 16bit/44.1kHzまたは 16bit/22.05kHzの WAV ファイル
- PA-DA300 本体で録音した音声ファイル
(ファイル名:CM00XXXXO.jav)

3. 「出力ファイル」に保存するファイル名を指定します。

4. 音声ファイルの加工方法を選択する。

- 44.1kHz → 22.05kHz
サンプリング周波数を 44.1kHz → 22.05kHz に変換します。

- ステレオ→モノラル
ステレオ音声をモノラル音声に変換します。
- LPCM → μLaw
リニア PCM を μLaw 圧縮に変換します。
- 前後無音部切り出し
音声ファイル前後の無音部を切り取り（削除）します。
選択するとスライダーが表示されるので、数値を選択してください。
[設定値: 1 (無音部を削除するレベルが最も小さい) ~ 10 (無音部を削除するレベルが最も大きい)]

- ゲイン補正
音声のゲインを補正します。選択するとスライダーが表示されるので、数値を選択してください。
[設定値: -10dB ~ +10dB]

メモ: _____

- ファイルの種類(*.wav または *.jav) は「入力ファイル」と同じになります。変更できません。

- ノイズゲート処理

音声の無音部をゼロに置き換えます。選択するとスライダーが表示されるので、数値を選択してください。

[設定値： 1 (無音にするゲートが最も小さい)
～ 10 (無音にするゲートが最も大きい)]

- D レンジ圧縮

音声のダイナミックレンジを圧縮します。選択するとスライダーが表示されるので、数値を選択してください。

[設定値： 1 (圧縮度が最も小さい)
～ 10 (圧縮度が最も大きい)]

- ローパスフィルタ

選択するとプルダウンメニューが表示されます。フィルタ周波数を選択してください。

[設定値： 2k、3k、4k、5k、6k、7k、8k、
10k、12k、16k]

- ハイパスフィルタ

選択するとプルダウンメニューが表示されます。フィルタ周波数を選択してください。

[設定値： 50、63、80、100、125、160、
200、250、315、400、500]

5. [実行] をクリックすると加工・編集を実行します。

メモ:

- 5の後、加工・編集が終了するまでの時間はパソコンの仕様、音声ファイルの長さによって変わります。

(参考)

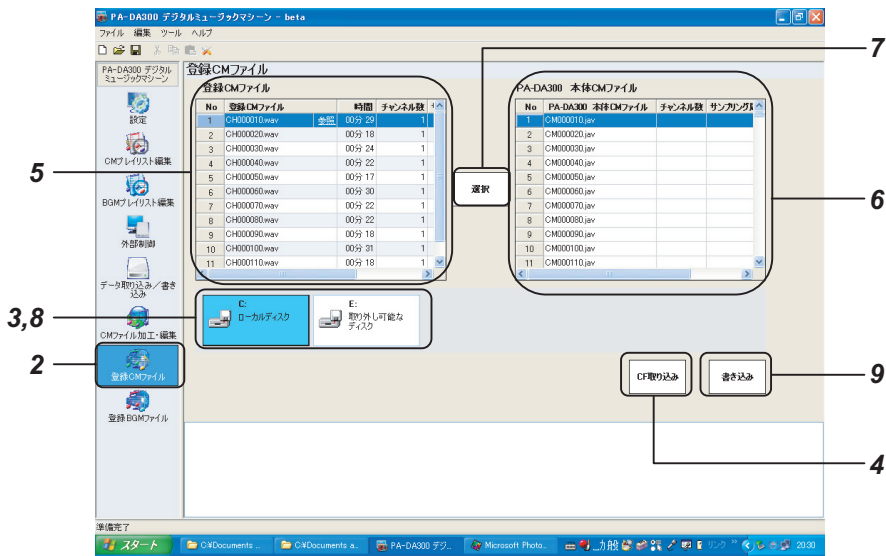
約 180 秒の音声ファイルで Pentium4、2.4GHz の
パソコンでは約 1 秒

- 本体で録音した音声ファイルを加工・編集する場合は、本体の CF カードを取り外しパソコンに接続して CF カードライター / リーダーに挿入してからおこなってください。(p. 5 ページ)
本体の CF カードの音声ファイルはルートディレクトリの CM フォルダーに入っています。
-

CM ファイルの登録

パソコンで作成した CM ファイルを追加する場合や、PA-DA300 本体で録音した CM ファイルをパソコンで加工・編集した場合など、CM ファイルの登録と CF カードへの書き込みをします。

- 1. パソコンと CF カードライター／リーダーを接続し、「CM 用メモリカード」を挿入する
 - 2. [登録 CM ファイル] アイコンをクリックする
- 登録 CM ファイル画面が表示されます。



- 3. 1で挿入した CF カードを選択します。
 - 4. CF カード内の CM ファイルのリストを読み込む
- 「CF 取り込み」をクリックすると「PA-DA300 本体 CM ファイル」に CF カード内の CM ファイルのリストが表示されます。
(ファイル名は「CM00XXXX0.jav」と表示されます)
- メモ: _____
- 既に CM ファイルが登録されている CF カードに追加・上書きする場合は 3、4 をおこなってください。新規の場合は必要ありません。

5. 登録元 CM ファイルを選択する

「登録 CM ファイル」で CM ファイル欄を選択します。「参照」をクリックし、WAV、JAV ファイルを選択します。

メモ: _____

- 登録可能な CM ファイル方式は以下の 6 種類です。

	チャンネル数	サンプリング周波数	フォーマット
ハイスタンダードーモノラル	1(モノラル)	44.1kHz	LPCM
スタンダードーモノラル	1(モノラル)	22.05kHz	LPCM
ハイロングーモノラル	1(モノラル)	44.1kHz	μ-law
ロングーモノラル	1(モノラル)	22.05kHz	μ-law
スタンダードースtereo	2(ステレオ)	22.05kHz	LPCM
ロングースtereo	2(ステレオ)	22.05kHz	μ-law

6. 登録先 CM ファイルを選択する

「PA-DA300 本体 CM ファイル」で CM ファイル欄を選択します。

7. CM ファイルを登録する

「選択」をクリックし、登録先に CM ファイルを登録します。
(ファイル名は登録元と同じ表示がされます)

- 8. 5～7を繰り返すすべての登録が終了した後、1で挿入した CF カードを選択します

メモ: _____

- ローカルディスク等に CM ファイルを保存したい場合には、保存したいディスクのルートディレクトリ内に「CM」フォルダーを作成してください。

9. CF カードに書き込む

「書き込み」をクリックし、「PA-DA300 本体 CM ファイル」の内容を CF カードに書き込みます。

メモ: _____

- 「PA-DA300 本体 CM ファイル」の内容を CF カードに書き込むときに、ファイル形式を *.jav に変更します。
- PA-DA300 本体の LCD 画面には以下のように表示されます。

No.	変更後ファイル名	PA-DA300 本体 LCD 表示
1	CM000010.jav	C001
2	CM000020.jav	C002
{	}	}
999	CM009990.jav	C999

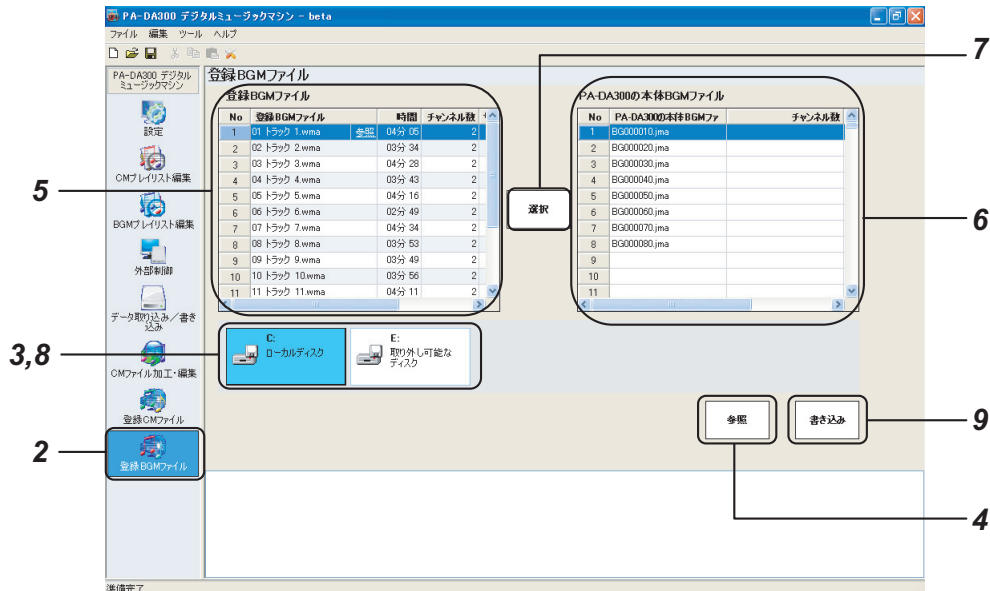
BGM ファイルの登録

パソコンで作成した BGM ファイルの新規および追加登録と CF カードへの書き込みをします。

1. パソコンと CF カードライター／リーダーを接続し、「BGM 用メモリカード」を挿入する

2. [登録 BGM ファイル] アイコンをクリックする

登録 BGM ファイル画面が表示されます。



3. 1で挿入した CF カードを選択します。

4. CF カード内の BGM ファイルのリストを読み込む

「CF 取り込み」をクリックすると「PA-DA300 本体 BGM ファイル」に CF カード内の BGM ファイルのリストが表示されます。

(ファイル名は「BG00XXX0.jma」と表示されます)

メモ:

- 既に BGM ファイルが登録されている CF カードに追加・上書きする場合は **3**、**4**をおこなってください。新規の場合は必要ありません。

5. 登録元 BGM ファイルを選択する

「登録 BGM ファイル」で、BGM ファイル欄を選択します。「参照」をクリックし、WMA 形式の音声ファイルを選択します。

メモ:

- 登録可能な BGM ファイル方式は以下の 3 種類です。
なお、「可変ビットレート」には対応していません。

	チャンネル数	サンプリング周波数	ビットレート
スタンダードステレオ	2 (ステレオ)	44.1kHz	128kbps
ロングステレオ	2 (ステレオ)	44.1kHz	64kbps
ロングモノラル	1 (モノラル)	44.1kHz	32kbps

6. 登録先 BGM ファイルを選択する

「PA-DA300 本体 BGM ファイル」で BGM ファイル欄を選択します。

7. BGM ファイルを登録する

「選択」をクリックし、登録先に BGM ファイルを登録します。
(ファイル名は登録元と同じ表示がされます)

8. 5～7を繰り返すすべての登録が終了した後、1で挿入した CF カードを選択します

メモ:

- ローカルディスク等に BGM ファイルを保存したい場合には、保存したいディスクのルートディレクトリ内に「BGM」フォルダーを作成してください。

9. CF カードに書き込む

「書き込み」をクリックし、「PA-DA300 本体 BGM ファイル」の内容を CF カードに書き込みます。

メモ:

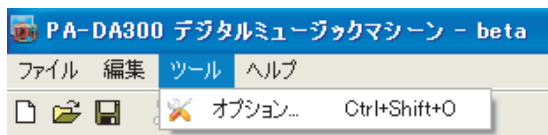
- 「PA-DA300 本体 BGM ファイル」の内容を CF カードに書き込むときに、ファイル形式を *.jma に変更します。
- PA-DA300 本体の LCD 画面には以下のように表示されます。

No.	変更後ファイル名	PA-DA300 本体 LCD 表示
1	BG000010.jma	B001
2	BG000020.jma	B002
}	}	}
999	BG009990.jma	B999

オプションの設定

オプションの設定は、ファイルの保存場所や通信ポートの設定を変更したい場合に行います。

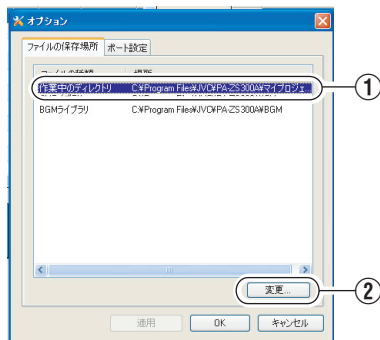
1.メニューバーの「ツール」から「オプション」を選択するオプション画面が表示されます。



■ ファイルの保存場所設定

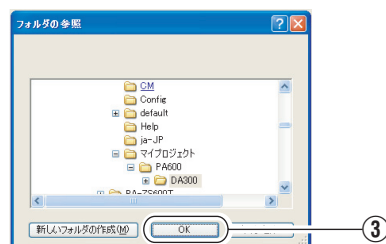
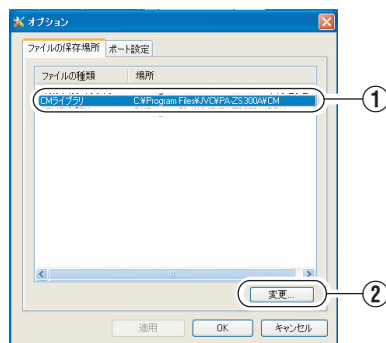
● 作業中のディレクトリ

- ① プロジェクトを保存するフォルダーを変更したい場合、[作業中のディレクトリ] を選択します。
- ② [変更] をクリックします。
- ③ フォルダーを選択して [OK] をクリックします。



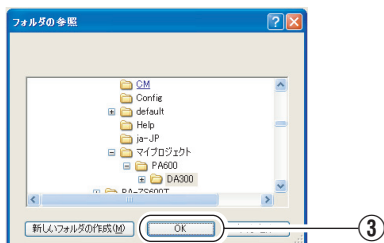
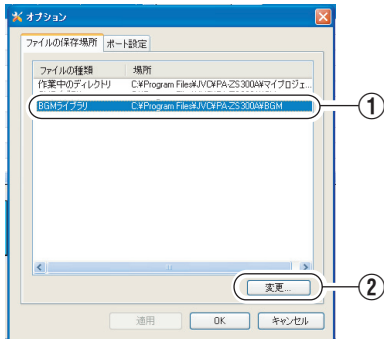
● CM ライブラリ

- ① 新規CMファイルの登録作業に使用するフォルダーを変更したい場合、[CM ライブラリ] を選択します。
- ② [変更] をクリックします。
- ③ フォルダーを選択して [OK] をクリックします。



● BGM ライブラリ

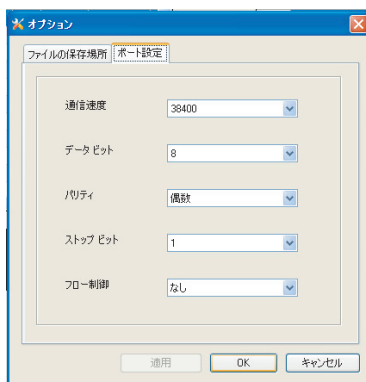
- ① 新規 BGM ファイルの登録作業に使用するフォルダーを変更したい場合、[BGM ライブラリ] を選択します。
- ② [変更] をクリックします。
- ③ フォルダーを選択して [OK] をクリックします。



■ ポート設定

特に変更の必要がない場合、以下の値に設定してください。

通信速度 : 38400
データビット : 8
パリティ : 偶数
ストップビット : 1
フロー制御 : なし



パソコンによる PA-DA300 本体の制御

パソコンから、PA-DA300 本体を制御することができます。

外部制御中は、パソコンからの操作が優先されます。PA-DA300 本体のボタン操作はできません。

1. パソコンと PA-DA300 本体を USB ケーブルで接続する (p. 5 ページ)

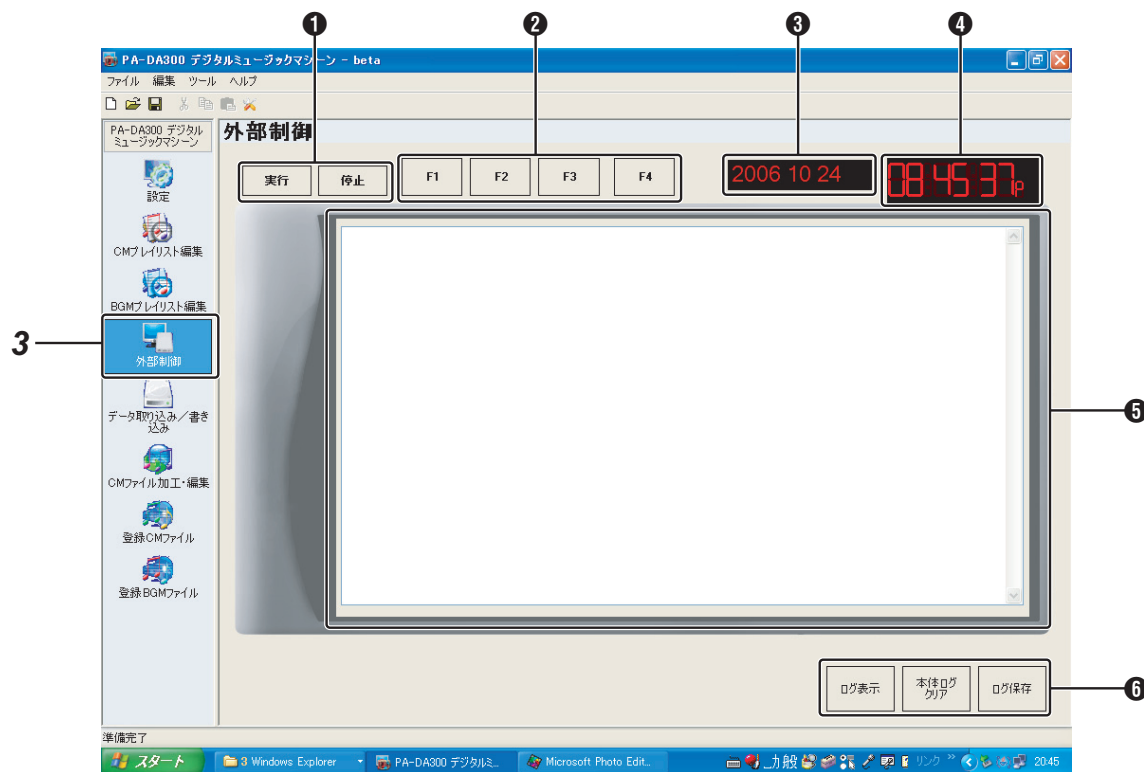
2. PA-DA300 本体の LCD 画面がメニュー画面でないことを確認する

ご注意:

- PA-DA300 本体の LCD 画面がメニュー画面を表示しているあいだは、パソコンとの通信はできません。

3. [外部制御] アイコンをクリックする

外部制御画面が表示されます。



① [実行 / 停止] ボタン

実行 : PA-DA300 を実行状態にする場合にクリックします。

停止 : PA-DA300 を待機状態にする場合にクリックします。

メモ:

- 停止ボタンをクリックすると、[機能] キー、[制御入力] 端子の動作も停止します。

② [F1 ~ F4] ボタン

クリックすると、それぞれのボタンに割り当てられた動作をします。“機能キー 1 ~ 4” (p. 13 ページ)

③ 日付表示部

現在の日付が表示されます。

④ 時刻表示部

現在時刻が表示されます。

右端の [A] [P] は、それぞれ、AM (午前)/PM (午後) を表します。

メモ:

- ③④ の日付と時刻はパソコン内蔵の時計情報を表示します。

パソコンによる PA-DA300 本体の制御（つづき）

⑤ エラーログ表示部

ログ表示ボタン ⑥ をクリックすると、動作エラーの全記録（ログ）が表示されます。



ご注意:

- 表示できるエラーログは最大 100 件です。100 件を超えると、一番古いログ（⑦ 表示ログ番号 = 001）から消去されます。

⑥ ログ操作ボタン

ログ表示 : 動作のエラーログが、エラーログ表示部 ⑤ に表示されます。

本体ログクリア : すべてのログが消去されます。

ログ保存 : ログをテキストファイルに保存する場合にクリックします。[名前を付けて保存] 画面が表示されますので、保存場所を選択し、名前をつけて保存してください。

メモ:

- ログ内容の詳細については、エラーログパターン表と PA-DA300 本体の取扱説明書をご覧ください。
(※ PA-DA300 取扱説明書 129 ページ「エラーログパターン表」)
- 不明な点は販売店または、サービス窓口にお問い合わせください。

エラーログパターン表

PA-ZS300A ログ表示	PA-DA300 ログ表示		エラー内容	対応
	エラー番号	パラメーター		
SRAM 異常	E001		ハードエラー	①
CPLD 異常	E002			
FPGA 異常	E003			
CF カード途中で抜かれた	E004	CM カード / BGM カード	本機の動作中にメモリーカードを抜いた	② or ④
設定ファイル読み込み時のエラー	E005		設定データの読み込みエラー	③
設定ファイル書き込み時のエラー	E006		設定データの書き込みエラー	③
CF カード起動時に未実装	E033	CM カード / BGM カード	起動時に、メモリーカードが本機に挿入されていない	② or ④
ハードビート切断	E036	PC0048	PC 通信時エラー	⑤
YMODEM 強制終了発生		PC4192		
JCCP 送信失敗		PC0001		
JCCP 受信タイムアップ		PC0003		
YMODEM 中断 SEQ 異常発生		PC4097		
YMODEM 中断 PC → 本体 ファイル受信失敗		PC4098		
YMODEM 中断本体 → PC ファイル受信失敗		PC4099		
CM 楽曲なしエラー<曲番号>	E037	サイセイ<曲番号>	CM ファイル再生エラー	②
CM 楽曲オープンエラー<曲番号>	E038	サイセイ<曲番号>		
CM 楽曲重複再生エラー<曲番号>	E039	サイセイ<曲番号>		
<曲番号> CM ファイルのアクセスエラーです。	E040	サイセイ<曲番号>		
CM 楽曲パラメータ異常<曲番号>	E041	サイセイ<曲番号>		
BGM 楽曲なしエラー<曲番号>	E042	サイセイ<曲番号>	BGM ファイル再生エラー	④
BGM 楽曲オープンエラー<曲番号>	E043	サイセイ<曲番号>		
BGM 楽曲重複再生エラー<曲番号>	E044	サイセイ<曲番号>		
<曲番号> BGM ファイルのアクセスエラーです。	E045	サイセイ<曲番号>		
BGM 楽曲パラメータ異常<曲番号>	E046	サイセイ<曲番号>		
BGMWMA デコードエラー	E047	サイセイ<曲番号>		
録音エラー<曲番号>	E050	ロクオン<曲番号>	録音エラー	③
消去エラー<曲番号>	E051	ショウキョ<曲番号>	消去エラー	③

メモ:

●「対応」に記載されている番号の詳細は下記のとおりです。

- ①：販売店またはサービス窓口にお問合わせください。
 - ②：CM 用メモリーカードを正しく挿入してください。
 - ③：CM 用メモリーカードに異常がある可能性があります。正常なデータが保存されているか確認してください。
指定のメモリーカードを使用していない場合は、指定のメモリーカードを使用してください。
 - ④：BGM 用メモリーカードを正しく挿入してください
 - ⑤：通信用ケーブルの接続、接続した外部機器に異常がないかを確認してください。
- ②～⑤の対応を行っても、再度エラーが発生する場合は、販売店またはサービス窓口にお問合わせください。

プレイリストプレイヤーについて

PA-DA300 本体や PA-ZS300A で編集したプレイリストは、アプリケーション「CM プレイリストプレイヤー」「BGM プレイリストプレイヤー」を使用して、パソコンで音声を再生することができます。

プレイリストプレイヤーのインストール

1. ダウンロードしたファイルを任意のフォルダーに解凍する。
2. 解凍してできたフォルダーにある「プレイリストプレイヤー」フォルダーを任意の場所にコピーする。

ご注意:

- 「プレイリストプレイヤー」フォルダーの内容はすべてコピーしてください。必要なファイルがすべて含まれています。

プレイリストプレイヤーの使用方法

- 「プレイリストプレイヤー」フォルダーの中には 2 種類の exe ファイルがあります、CM プレイリスト（プレイリスト No.001 ～ 499）を再生する場合は、「CMplaylistplayer.exe」を、BGM プレイリスト（プレイリスト No.501 ～ 999）を再生する場合は、「BGMplaylistplayer.exe」を、それぞれ実行してください。
- 「CM プレイリストプレイヤー」「BGM プレイリストプレイヤー」の詳しい使用方法に関しては「プレイリストプレイヤー」フォルダー内の「CM プレイリストプレイヤー操作説明書.pdf」「BGM プレイリストプレイヤー操作説明書.pdf」をお読みください。

こんなときは

症状	原因と対策			
パソコンにアプリケーションがインストールできない	パソコンの動作環境を確認してください。			
アプリケーションが起動できない	パソコンの動作環境を確認してください。 動作環境に問題がない場合は、必要なファイルが削除、もしくは破損している可能性があります。再インストールしてください。			
通信異常がでる	USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 PA-DA300 本体の LCD がメニュー画面でないことを確認してください。			
CM ファイルが登録できない	ファイルのフォーマットを確認ください。PA-DA300 で対応可能な wav, jav 形式ファイルのフォーマットは下記の通りです。			
		チャンネル数	サンプリング周波数	フォーマット
	ハイスタンダードーモノラル	1(モノラル)	44.1kHz	LPCM
	スタンダードーモノラル	1(モノラル)	22.05kHz	LPCM
	ハイーロングーモノラル	1(モノラル)	44.1kHz	μ -law
	ロングーモノラル	1(モノラル)	22.05kHz	μ -law
	スタンダードーステレオ	2(ステレオ)	22.05kHz	LPCM
	ロングーステレオ	2(ステレオ)	22.05kHz	μ -law
BGM ファイルが登録できない	ファイルのフォーマットを確認ください。PA-DA300 で対応可能な wma, jma 形式ファイルのフォーマットは下記のとおりです。 なお、「可変ビットレート」には対応していません。			
		チャンネル数	サンプリング周波数	ビットレート
	スタンダードーステレオ	2(ステレオ)	44.1kHz	128kbps
	ロングーステレオ	2(ステレオ)	44.1kHz	64kbps
	ロングーモノラル	1(モノラル)	44.1kHz	32kbps

■ エラー、ワーニングダイアログ一覧

表示内容	原因と対策	関連項目
新規プロジェクトと作業ファイルが作成できません。	① プロジェクトファイルを新規作成するデバイスに空き容量が足りません、空き容量が十分にあるデバイスに変更してください。 ② プロジェクト名に使用できない名前（文字）を利用しています、使用できる文字でプロジェクト名を入れなおしてください。	プロジェクトを作成する (7 ページ)
既に同名のプロジェクトが存在するため、その名前のプロジェクトを作成できません。	別の名前でプロジェクトを作成してください。	プロジェクトを作成する (7 ページ)
PA-DA300 デバイスが見つかりませんでした。	① 本体の電源が入っていません、本体の電源を入れてください。 ② USB ケーブル接続がされていません、接続を確認してください。	電源を入れる (PA-DA300 取扱説明書 9 ページ) システム接続 (5 ページ)
本体メンテナンス中のため、外部制御を実行できません。	本体がメンテナンスモード（メニュー画面の表示中）になっています。待機状態または実行状態にしてください。	メニュー画面の構成 (PA-DA300 取扱説明書 30 ページ)
失敗：デバイスとの通信に失敗しました。	本体実行中、メンテナンスモード中（メニュー画面の表示中）は書き込みできません。実行状態または待機状態にしてください。	メニュー画面の構成 (PA-DA300 取扱説明書 30 ページ)
失敗：アップロードが許可されません。	本体実行中、メンテナンスモード中（メニュー画面の表示中）は書き込みできません。実行状態または待機状態にしてください。	メニュー画面の構成 (PA-DA300 取扱説明書 30 ページ)
加工・編集できないフォーマットです。ファイルフォーマットを確認して下さい。	PA-DA300 で扱えないデータフォーマットです。	CM ファイルの加工・編集 (20 ページ)
選択したドライブを参照できませんでした。	① ディスクがありません、ディスクまたは CF カードを確認してください。 ② CM フォルダーもしくは BGM フォルダーのないドライブを接続しています。ディスクまたは CF カードを確認してください。	CM ファイル登録 (22 ページ) BGM ファイル登録 (23 ページ)
選択したドライブにエクスポートできませんでした。	① ディスクがありません。ディスクまたは CF カードを確認してください。 ② ディスクが書き込み禁止状態になっています。ディスクを確認してください。 ③ CM フォルダー、もしくは BGM フォルダーのないドライブへ書き込みを行おうとしています。ディスクまたは CF カードを確認してください。	CM ファイル登録 (22 ページ) BGM ファイル登録 (23 ページ)
{ファイル名} ファイルの情報が読み込めません	登録したファイルが PA-DA300 で扱えないデータフォーマットです。	CM ファイル登録 (22 ページ) BGM ファイル登録 (23 ページ)

**JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター**

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12